

問1 () 味噌で恐縮ですが、私の企画は好評でした。() に入る言葉はどれですか？

1. 自分 2. 身内 3. 手前 4. 自家

問2 「顰蹙を買う」の意味はどれですか？

1. 周囲の期待を裏切って失望させる 2. 身勝手な振る舞いで周囲を混乱させる 3. 自分の失敗によって周囲に迷惑をかける 4. 言動によって周囲から嫌悪や軽蔑の念を抱かれる

問3 彼女は() が軽く、誘えばすぐに遊びに来る。() に入る言葉はどれですか？

1. 手 2. 尻 3. 膝 4. 肩

問4 「胸を焦がす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 遠く離れた恋人に胸を焦がす日々だ。 2. たき火の熱で胸を焦がしてしまった。 3. 日焼けで胸を焦がして痛む。 4. 激辛料理を食べて胸を焦がした。

問5 「胸襟を開く」の意味はどれですか？

1. 服の襟を正して、礼儀正しく接する 2. 胸の内に秘めた怒りを爆発させる 3. 心を開いて、隠し立てせず打ち明ける 4. 相手を信頼して、自分の財産をすべて預ける

問6 彼女は() 端が利くので、会議の準備も完璧だ。() に入る言葉はどれですか？

1. 口 2. 目 3. 耳 4. 鼻

問7 才能ある若者の() を摘むような発言は慎むべきだ。() に入る言葉はどれですか？

1. 花 2. 根 3. 葉 4. 芽

問8 会議で私の提案が() 玉に挙げられた。() に入る言葉はどれですか？

1. 槍 2. 盾 3. 剣 4. 弓

問9 「音に聞こえる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 壁の向こうから音が聞こえるので静かにする。 2. 音に聞こえるほど大きな声で叫んだ。 3. 彼はその分野では音に聞こえる専門家だ。 4. 遠くから祭りの音が聞こえてくる。

問10 「水魚の交わり」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 長年の親友である彼らと、水魚の交わりを結んでいる。 2. 二人の仲は悪く、まさに水魚の交わりのような関係だ。 3. 水槽の中で魚を飼い、水魚の交わりを観察している。 4. 水魚の交わりを求めて、私は釣りに出かけることにした。

問11 「影を落とす」の意味はどれですか？

1. 自分の存在を隠して目立たなくすること 2. 過去の栄光を思い出して懐かしむこと 3. 他人の成功を妬んで邪魔をすること 4. ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと

問12 彼は最近、新しい趣味に() を上げている。() に入る言葉はどれですか？

1. 腰 2. 熱 3. 腕 4. 声

問13 怪談を聞いて() の毛がよだつ思いがした。() に入る言葉はどれですか？

1. 身 2. 手 3. 頭 4. 足

問14 「眉をしかめる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 欲しかったプレゼントをもらい、妹は眉をしかめて喜んだ。 2. 電車内で大声で騒ぐ若者たちに、乗客は眉をしかめた。 3. 鏡を見ながら、うまく眉をしかめられるように化粧をした。 4. 眉をしかめて、ハサミとブラシでキレイな形に整えた。

問15 「二の舞を演じる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 二の舞を演じるほど、彼はダンスの才能があった。 2. 昨日の劇の二の舞を演じるために練習を重ねた。 3. 彼は舞台上で素晴らしい二の舞を演じて喝采を浴びた。 4. 同じミスで二の舞を演じることをしないよう注意する。

問16 彼が並べた甘い愛の言葉に、思わず() が浮いた。() に入る言葉はどれですか？

1. 耳 2. 鼻 3. 歯 4. 目

問17 「気が咎める」の意味はどれですか？

1. 他人の失敗を厳しく指摘して、相手を反省させること 2. 自分の考えが間違っているのではないかと疑うこと 3. 自分のしたことに対して良心が痛み、後ろめたい気持ちになること 4. 物事の判断を急ぎすぎて、後で後悔すること



慣用句(上級)プリント24 答え合わせ・解説

問1 答え 3 手前

「手前味噌」の「手前」の部分が入ります。意味は「自分で自分のことを褒めること」です。

問2 答え 4 言動によって周囲から嫌悪や軽蔑の念を抱かれる

「顰蹙を買う」は「言動によって周囲から嫌悪や軽蔑の念を抱かれる」という意味です。

問3 答え 2 尻

「尻が軽い」の「尻」が入ります。誘われるとすぐに出かけたり、行動に移したりすることを表します。

問4 答え 1 遠く離れた恋人に胸を焦がす日々だ。

「胸を焦がす」の正しい使い方は「遠く離れた恋人に胸を焦がす日々だ。」です。意味は「あることを強く思い、じれったく思ったり切なく思ったりすること」です。

問5 答え 3 心を開いて、隠し立てせずに打ち明ける

「胸襟を開く」は「心を開いて、隠し立てせずに打ち明ける」という意味です。

問6 答え 2 目

「目端が利く」の「目」の部分が入ります。意味は「その場の状況や必要を素早く察して、うまく立ち回ることができる」です。

問7 答え 4 芽

「芽を摘む」の「芽」の部分が入ります。意味は「将来の可能性や発展の芽を早い段階で取り除く」です。

問8 答え 1 槍

「槍玉に挙げる」の「槍」の部分が入ります。意味は「ある人を非難や攻撃の対象として取り上げる」です。

問9 答え 3 彼はその分野では音に聞こえる専門家だ。

「音に聞こえる」の正しい使い方は「彼はその分野では音に聞こえる専門家だ。」です。意味は「評判が広く世間に知れ渡っている」です。

問10 答え 1 長年の親友である彼らとは、水魚の交わりを結んでいる。

「水魚の交わり」の正しい使い方は「長年の親友である彼らとは、水魚の交わりを結んでいる。」です。意味は「魚と水のように、切っても切れない親密な交際」です。

問11 答え 4 ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと

「影を落とす」は「ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと」という意味です。

問12 答え 2 熱

「熱を上げる」の「熱」の部分が入ります。意味は「ある物事に夢中になってのめり込む」です。

問13 答え 1 身

「身の毛がよだつ」の「身」の部分が入ります。意味は「恐ろしさや不気味さで、ぞっとする」です。

問14 答え 2 電車内で大声で騒ぐ若者たちに、乗客は眉をしかめた。

「眉をしかめる」は、不快な気持ちや嫌悪感、心配などのために眉間（みけん）にしわを寄せることを意味します。そのため、マナーの悪い行動に不快感を覚えている「電車内で大声で騒ぐ若者たちに、乗客は眉をしかめた。」が正しい使い方です。嬉しいときや、眉毛を整えるときには使いません。

問15 答え 4 同じミスで二の舞を演じることのないよう注意する。

「二の舞を演じる」の正しい使い方は「同じミスで二の舞を演じることのないよう注意する。」です。意味は「前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す」です。

問16 答え 3 歯

「歯が浮く」の「歯」の部分が入ります。意味は「軽薄な言動やキザな様子に不快感や気恥ずかしさを覚える」です。

問17 答え 3 自分のしたことに対して良心が痛み、後ろめたい気持ちになること

「気が咎める」は「自分のしたことに対して良心が痛み、後ろめたい気持ちになること」という意味です。